

ひなたぼっ通信

2015年
8月号

グループホームN.F.ご家族様より

母がひなたぼっこにお世話になり5年、開所の時より入所しています。初めの頃は職員さんの手伝いをしていての自負もあり、私が来所する毎に、御飯は食べたか？何か有ったのか？と心配の言葉を掛けてくれていたのですが、徐々に体や頭の働くことが困難となって来ました。

歳を重ねてくると子供に帰ると言いますが、毎年世話がかかる様になってきました。しかし、ひなたぼっこの職員さん方のお力添えもあり、きちんとした生活が送れています。有難うございます。今まで苦労してきた事を認知症という病気で何の遠慮もしないで世話が出来る事は職員さんには迷惑ですが、顔が見えるだけで励みや癒しとなります。

寒い冬も越え、暑い夏の季節となりますが、毎年々、出来るだけ長くみんなを見守って下さい。宜しく願います。(K様)

入居者のご家族様に記事をお寄せ頂きました。お忙しいところご協力頂きまして、有難うございます。皆様からの忌憚のないご意見、お便り等をお待ちしております。(編集部)

「ありがとう」の笑顔を胸に

「私は若い頃、子供をおぶって畑仕事や家の仕事を本当によくやったよ。だけど、今はこんな汚い手になっちゃった。」と日焼けしてリウマチで少し曲がった指を私に見せて、寂しそうにつぶやいたAさん。「そんな事ないよ。頑張つて働いた、働きの手だよ。」と言うと「そう？ありがとね。」と素敵な笑顔を見せて下さいました。普段はあまり笑顔を見せないAさんです。何気ない会話の中での出来事でしたが、この時のAさんの笑顔は忘れられません。ケアハウスも1年が過ぎ、入居されているご利用者様もや々と施設の生活に慣れてこられた事と思います。初めは以前の生活との違いに戸惑いや不安が沢山あり、切ない思いをされた事もあつたと思います。中には「私は皆さんにお世話になるばかりで本当に申し訳ない」と、スタッフに氣を使われているご利用者さんもいらつしやいました。私は、今まで一生懸命に頑張つて来られた皆さんに、「ひなたぼっこ」で心も身体もホカホカ暖かく「今日も良い一日だった」と思いながら過ごして頂けますよう、そして人生の大先輩に心から敬意を表し、精一杯お手伝いをさせて頂きたいと思っています。Aさんが見せて下さった素敵な笑顔を、ひとりでも多くの皆さんに見られる事を願つて。

(ケアハウス ケアマネジャー)

「ついでにも家族、大家族」

「ほらほら、きたよ」 「可愛いね」グループホームN.F.では、窓越しに台を置き、鳥に残つたご飯をあげています。ある日、「見て！見て！見て！」恋人か？・・・イヤッ親子だと思ひますが、スズメの親が子どもに口移しでご飯を食べさせている光景が目の前に。

「見た!? 見た!?」 「いいもの見たねえ」

とみんなでほっこり。



「これあげて」とご自分の茶碗を差し出して下さる方や「ご飯あげてくれた？」とスズメの心配をして下さる方もいらつしやいます。みんなで大勢にしている家族、大家族です。

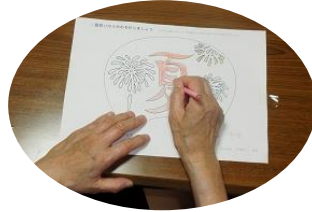
七夕祭りにおはぎ

宅幼老所では7月7日の七夕に、手作りのおはぎでお祝いをしました。あんことエゴマの2種類で、利用者さまにもお手伝いしていただき、おいしいおはぎが出来上がりました。利用者様から頂いた野沢菜を漬けて箸休めに添え、豪華なおやつとなりました。



「ひなたぼっこ祭り」の準備はじまる

宅幼老所では、10月に秋祭りを開催する予定です。お祭りに向け、「ひなたぼっこ音頭」の踊りのときに使ううちわ作りを始めました。台紙選びから、どんなレイアウトにするかを決め、色を塗ったり、絵を切り抜いたりとりひとりの手作りです。お祭りではひなたぼっこ音頭に合わせてうちわを持ち、利用者様が一緒に踊る予定です。午後のレクリエーションの時間には、歌と踊りの練習も始まりました。今からお祭りが楽しみですね。



宅幼老所からのお願いです。

先月から忘れ物がいくつもあり、記名がないため、どなたの物かわからずこちらでお預かりしている衣類がございます。お手数ですが、はおり物、帽子、杖等に記名して頂けると助かります。こちらでも気をつけて見ていきたいと思いますが、よろしくお願い致します。

利用者様の作品をご紹介します

- 春愁や つるを拡げて 置く眼鏡
- 抱きし子に 未らいの重み 春の空
- 星月夜 老いて警備の 職につく
- 花冷えや 無言の人に 歩を合わすのどか
- 長閑さや 少し笑顔の ブルドック

(ケアハウス 青峰様)

「今日もいい一日だ」と

(利用者様が選んだ素敵な言葉 その2)

禅の言葉に「日々是好日」というのがある。

言葉通りにその意味を受け取れば、「昨日はいい日だった。今日もいい日だった。毎日がいい日だ」ということになるが、本来はそのような結果を言うのではなく、むしろ毎日『今日ほどいい日はない』と生きていこうという、心がけについて述べられたものなのです。実際には人は一日の生活の中で、イヤな事、苦しい事、悲しい事をたくさん経験しなければなりません。ですが、心の平静さをなくしたり落ち込んでいても、自分の人生をいい方向へ進めていく事は出来ません。ですからどんな事があっても、今日ほどいい日はないと前向きに生きていこうとこの言葉は述べているのです。その意味ではこれは自己暗示の言葉と言ってもいいかもしれませぬ。

自己暗示をかけることで、平常心で自分の人生を前進させていく事ができ、今日という日を大切に生きていくことも出来るようになると教えていると考えられます。(ケアハウス)

ひなたぼっこイベント開催中

血圧測定、健康相談、簡単な小物作り等
 8月22日(土) 10:00~13:00
 昼食代は400円 送り迎えも致します
 お申込みは宅幼老所 山下までどうぞ



ケアハウスのひとこま

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336